

時間割コード	G1D11804	開講年度	2026				
授業題目	クリティカル・リーディング（初級）				担当教員	宮崎 ひろ美	
英文授業名	Critical Reading						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生	L 《4》
講義室	共通教育55講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Critical Reading に引き続き、様々なジャンルの英文（雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスク립ト、討論、講義、講演等）の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。 （Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。）						
(5)授業のキーワード	Critical Reading Critical Thinking						
(6)授業計画	第1回 Chapter 8: Spouse Hunting (1) 第2回 Chapter 8: Spouse Hunting (2) 第3回 Chapter 9: Space Exploration (1) 第4回 Chapter 9: Space Exploration (2) 第5回 Chapter 10: Becoming a World Heritage Site (1) 第6回 Chapter 10: Becoming a World Heritage Site (2) 第7回 Chapter 11: Driverless Cars (1) 第8回 Chapter 11: Driverless Cars (2) 第9回 Chapter 12: The Lay-Judge System in Japan (1) 第10回 Chapter 12: The Lay-Judge System in Japan (2) 第11回 Chapter 13: Artificial Intelligence (1) 第12回 Chapter 13: Artificial Intelligence (2) 第13回 Chapter 14: Life-prolonging Treatment (1) 第14回 Chapter 14: Life-prolonging Treatment (2) 第15回 Chapters 8～14（まとめ） 第16回 期末試験						
(7)成績評価の方法	グループでの取り組み 20% 課題（意見文パラグラフ） 30% 期末試験 50%						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・事前学習：音読をする。知らない語句を辞書で調べる。 ・事後学習：アイディア（賛成か反対か）をまとめたり、意見文を書く準備をする。						
(10)履修上の注意	・座席表に基づいて教員が出欠登録をするので、各自で確認してください。間違っている場合は、翌週の授業までに連絡すること。 ・遅刻は30分までとします（遅刻三回で欠席一回）。						
(11)質問,相談への対応	・授業の前後や昼休みに非常勤控室に来ること（水木のみ）。 ・メールでの対応可。メールアドレスは eALPSコース画面に掲載します。						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	* 前期の教科書を引き続き使用します。 Taking Sides: Opinions For and Against, 朝日出版社, 1900円
【参考書】	指定しない。